

交渉情報	NO.102	信越支社郵便事業本部 オペレーション部
JP労組 信越地方本部	2013年5月16日	添付資料:25枚

平成25年度お中元業務運行について

(中央交渉情報 日本郵便・4月26日発出)

信越支社郵便事業本部オペレーション部は、本日(5月16日)「平成25年度お中元業務運行」について地方本部に説明してきました。

標記の基本方針については、昨年の業務運行状況を踏まえた上で、「業務及び要員配置の計画」に入念に策定し、「確実な結束の確保」、「品質の確保」及び「コストの低減」に取り組むとしており、基本的には昨年度オペレーションを踏襲しています。

「支社資料」は基本方針等の概要、「別紙1」は基本方針等の詳細、「別紙2」は全国の想定引受個数、「別添資料」は業務及び要員配置計画の記載等事項、ゆうパックの集配計画の策定、以降出し対応等、「予想数」は各ブロックのゆうパック差立個数及び分配個数について記載されています。

詳細は支社資料を参照願います。

以下は地本の意見質問と支社回答(※)です。

① 全国引受予測が8,815万個、昨年比104.6%となった根拠について。

※ 現在も行っているが同業他社からの大口・中口等の奪還により、今年度目標の3.9億個を達成するための目標とされている。

② 信越管内の想定個数について。

※ 統括局の差立個数は304.6万個(昨年比104.6%)、分配個数は268.6万個(昨年比105.6%)であり、全国予測とほぼ同等。(「予想数」参照)

③ 新潟中央局は狭隘であるが、代替施設の確保状況について。

※ 新潟中央局東港分室を通年で借用し、ハーモニックの処理を行っているところ。お中元期も含めて対応可能。

④ コスト低減とあるが具体策は。

※ 効率的な通配業務により、例年以上に「巻き取り」を強化し、コスト低減につなげる。

⑤ 臨時便の設定について。

※ 今年度の予測を精査した上で、効率的なダイヤ案を各局に求めているところ。後日、情報提供したい。

以上について意見交換しました。特に地本は、「コスト低減の趣旨は理解するが、必要なものまで削減し、サービス、業務運行、品質に支障を来すことのないよう指導を願いたい。また、現場で良く意見交換できるよう対処されたい。」と申し入れ、支社も確認しています。

標記業務運行に対して、齟齬や問題が発生した場合は、単局窓口等で対処するとともに、地本へ連絡願います。

【労使対応】 情報提供